
Authors: Shogo Hoshino, Atsushi Okamoto, Yuta Goto, Kazuhisa Ogawa, Akihisa Tomita, Yuta Wakayama, and Takehiro Tsuritani
Title: “Measurement of differential mode delay using reference-free low-coherence digital holography”
Session: [10561-12] OPTO Next-Generation Optical Communication Components, Sub-Systems, and Systems VII
Type: Oral Session
Chairs: Hussam G. Batshon (TE Connectivity Subsea Communications (USA))

質疑応答

スライドのアップロードが上手くできておらず、時間が押していたためか、発表内容に興味を抱いていただけなかったためなのか分かりませんが、その場での質問はありませんでした。休憩時間に、同じ DMD 計測の研究をしているインド人の学生から声をかけられて、お互いの研究内容のディスカッションをしている際に、質問があったので、その質疑応答をまとめます。

質問者: Varun Kelkar (Indian Institute of Technology Madras (India))

【質問内容】

1. (実験系の図をみて) この移動ステージとミラーは、なんのためにあるんですか？

【応答内容】

1. 低コヒーレンス光源を用いた、DMD 計測手法のスライドを見せて、参照光の光路に遅延を与えていることを説明しました。

【発表の感想】

初めての、国際学会に参加することで、非常に多くの良い経験をすることができました。発表では、スライドのアップロードが上手くできておらず、開始が 4~5 分ほど遅れてしまい、焦ってしまいました。ですが、発表自体は滞りなく出来たと思います。自分が研究している内容を、世界に発信しているというのを実感できました。

学会全体として、自分が研究している分野の発表を聞くのは、非常に勉強になりました。また、他分野の研究も興味深いものも多く、ポスター発表を聞くことで、よい勉強になりました。国際学会では、日本人以外のつながりもできるので、非常に良い場だと感じました。

また、現地では、高林先生に非常にお世話になりました。観光地の案内、会場の案内などしていただきました。また、研究室の昔話、現在の研究など多くのお話をしていただきました。気兼ねなくお話ができる人とつながれる Optnet のネットワークは素晴らしいと思いました。

最後に、日頃からご指導いただいている岡本先生をはじめ、お世話になっている光エレクトロニクス研究室の皆様へ感謝いたします。また、KDDI 総合研究所所属の若山雄太様には大変多くのご助力いただきました深く感謝いたします。

Authors: Zihan Zhou, Atsushi Okamoto, Shimpei Shimizu, Akihisa Tomita, Kazuhisa Ogawa, Yuta Wakayama, Takehiro Tsuritani
Title: “Selective spatial mode attenuator using phase-intensity-phase modulation toward mode division multiplexing transmission”
Session: SDM and FSO II, 15:45-16:00
Type: Oral
Chairs: Cristian Antonelli

質問者: Li (Univ. Tianjin), Antonelli (Univ. degli Studi dell'Aquila)

【質問内容】

1. 強度マスクの設計方法はなんですか。
2. 実証実験は出来ましたか。

【応答内容】

1. 各マスクの設計は目標値によって、焼きなまし法を使用し

て設計します。焼きなまし法の動作原理を説明しました。

2. 今後予定しています。

【発表の感想】

初めての海外発表なので、今回は高林先生と星野君に大変お世話になりました。現地に到着したときには、時差が原因で疲れたと感じました。高林先生のお陰で学会の会場に行きました。自分の発表のとき、多少緊張感を感じますが、研究室での発表練習のおかげで、発表と学会の先生からの質問を無事にできました。同じセッションの発表とポスター発表を聞かせて、大変勉強になりました。

最後にご指導、原稿の添削、学会に対してのアドバイスなどをしていただいた岡本先生、諸先輩方に深く感謝申し上げます。
